

2022年11月4日

各位

会社名 日本郵船株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長澤 仁志
 (コード番号:9101 東証プライム)
 問合せ先 IRグループ長 下村 修一郎
 (TEL.03-3284-5151)

2023年3月期 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想（期末配当）の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月4日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を実施することについて決議いたしました。また、2022年8月3日に公表した、2023年3月期期末配当の予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）について

	決定額	直近の配当予想 (2022年8月3日公表)	前期実績
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	1,050円00銭	1,000円00銭	200円00銭
配当金総額	178,022百万円	—	33,910百万円
効力発生日	2022年12月1日	—	2021年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 配当予想（期末配当）の修正について

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想（2022年8月3日発表） （株式分割前換算）		145円00銭 (435円00銭)	— (1,435円00銭)
今回修正予想 （株式分割前換算）		160円00銭 (480円00銭)	— (1,530円00銭)
当期実績	1,050円00銭		
前期実績 （2022年3月期）	200円00銭	1,250円00銭	1,450円00銭

(注)

- ・2022年9月30日を基準日とする2023年3月期中間配当は分割前の株式数を基準とします。
- ・2023年3月31日を基準日とする2023年3月期期末配当は株式分割後の株式数を基準とします。
- ・合計の1株当たり配当金予想については、株式分割の実施により単純比較ができないため表示しておりませんが、株式分割前基準での1株当たり年間配当金予想は1,530円となる見通しです。

3. 配当予想修正の理由

当社は株主の皆様への安定的な利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、連結配当性向 25%を目安とし、業績の見通し等を総合的に勘案し利益配分を決定しています。

この基本方針の下、当事業年度（2023年3月期）の中間配当金は、本日発表した2023年3月期第2四半期（累計）実績を踏まえ、前回予想から1株当たり50円引き上げて1,050円といたしました。

また期末配当金については、1株当たり145円と予想していましたが、本日発表した通期連結業績予想を踏まえ、1株当たり15円引き上げて160円とする予定です。なお、年間配当金については、2022年9月30日を基準日、及び2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため単純合算が出来ませんが、株式分割前基準では1株当たり1,530円となる見通しです。

以 上